

JRE Local Hub 燕三条は開業 2 周年を迎えます！

～海外展開や地域間連携等を通じて燕三条エリアのさらなる発展を目指します～

- 東日本旅客鉄道株式会社（以下、「JR 東日本」）は、株式会社ドッツアンドラインズ（新潟県三条市）と連携して、2023 年 2 月 17 日に開業した地方創生型ワークプレイス「JRE Local Hub 燕三条」を運営しており、ビジネスマッチングやシェアオフィスの運営、地域情報の発信、人材育成等を通じたものづくり産業の活性化を推進しています。
- 首都圏企業や燕三条エリア内の企業との商談により、開業 2 年間で 80 件のビジネスマッチングが成立し、燕三条エリアの産業活性化に寄与しています。
- 2 周年を迎える今年は、さらなる燕三条エリアの産業活性化を目指し、JRE Local Hub 燕三条として初となるアメリカや台湾における出展を通じた燕三条エリアの発信や、ものづくりで有名な福井県鯖江市の事業者との地域間連携イベント等を実施します。

1 ビジネスマッチング等による産業活性化について

(1) これまでの実績（2025 年 1 月末までの実績）

開業以来 200 件を超える企業との商談を行い、そのうち 80 件（直近 1 年間で 44 件）のビジネスマッチングが成立しました。

この取り組みを機に事業拡大に繋がった事例もあります。

また、シェアオフィス利用実績は、開業以来約 4,000 名（直近 1 年間で約 2,000 名）です。



(2) マッチング事例

① エスプレッソメーカーの開発

都内を中心に店舗を運営する自家製焙煎珈琲屋「SOL'S COFFEE（ソルズコーヒー）」が、ポータブルで本格的なエスプレッソを淹れられるエスプレッソマシンを、燕三条エリアの技術を活用して開発し販売。

1/100mm までこだわった金属加工技術を用い実現された高い機密性と圧力が、質の高いエスプレッソ抽出を支えている。

参考：<https://www.quissaco.com/>



② アウトドアサウナギアの開発

『Saunner of the Year 2024』を受賞した、東京を拠点に活動する「madsaunist（マッドサウニスト）」が、燕三条ものづくり技術と連携し、加熱水蒸気を生成する革新的なアウトドアサウナギア「スチームジェネレーター」を開発。

精緻な金属加工技術と溶接技術、さらにシミュレーター分析を駆使し、機能の徹底的な最適化を実現。

参考：<https://madsaunist.com/product/steamgenerator>



③ 極薄チタン名刺入れの開発

株式会社ドロームが、ビジネスの「人」との出会いの場をより素敵なものにするために、チタニウム製極薄サイズ 1.6mm の名刺ケース「AIRNIUM（エアニウム）」を開発。

デザインや、加工、パッケージを含め各社と連携して開発された本商品はビジネスの「出会い」を大切にするとともに、洗練されたデザインで新たな市場開拓を行っている。

参考：[https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000046.000033994.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000046.000033994.html)



2 今後の予定について

(1) 海外における燕三条エリアの情報発信

① アメリカ・ロサンゼルス「JAPAN RAIL CAFE LOS ANGELES」への出展

アメリカにおいて初めて期間限定で出展する「JAPAN RAIL CAFE LOS ANGELES」ポップアップ店で、燕三条エリアの製品を販売し、ロサンゼルスの方々に地域の魅力を伝えます。

- ・開催日：2025年2月21日（金）～3月2日（日）
- ・会場：Tokyo Central ガーデナ本店
- ・主な販売品：



企業名	主な商品
(株)諏訪田製作所	つめ切り
三宝産業(株)	ぐい呑み、タンブラー
ミノル製作所(株)	ぐい呑み、タンブラー
燕物産(株)	ナイフ、フォーク、スプーン
(有)せきかわ工芸	タンブラー



【参考：ポップアップ店について】https://www.jreast.co.jp/info/2024/20250214_ho02.pdf

② 台湾・台北「^{あいだ}之間 In Between-燕三条文化交流展」への出展

燕三条貿易振興会が主催するイベントにおいて、ビジネスマッチングを目的とした燕三条エリアの企業の紹介や、新幹線をはじめとした鉄道の情報発信を通じたインバウンド需要の創出を目指します。

- ・開催日：2025年3月13日（木）～16日（日）
- ・会場：松山文創園區
- ・内容：
 - ・イベントは、燕三条エリアの企業16社が出展し地域製品の販売や製作体験、トークショーを行う。
 - ・JRE Local Hub 燕三条の取組みとしてビジネスマッチングや企業紹介のほか、鉄道利用促進につながる情報発信を行う。



(2) 地域間連携を通じたものづくり産業活性化に向けた取組み

「地域のものづくり産業の発展のためのコワーキングスペースの役割を考える」と題して、福井県鯖江市でクリエイターが集う拠点として注目される「SABAE CREATIVE COMMUNITY」と連携したオンラインイベントを株式会社AnyWhereと共催で開催します。

- ・日にち：2025年3月6日（木） 19:00～20:30
- ・会場：オンライン（SpatialChat）
※事前準備不要・無料でご利用いただける2Dのメタバース空間
- ・申込先：<https://forms.gle/U4VKBUccz7T9M5S8>
※定員40名（先着順）

・内容：

以下趣旨のもと、取組み紹介やディスカッション、質疑応答等を行います。

- ・ものづくり産業×コワーキングスペースの可能性を考える
- ・ものづくり系コワーキングスペースの今後の目指す姿を描く
- ・参加者にとって魅力的に感じられる拠点づくり



(3) 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）「Co-Design Challenge」への参画
～未来の椅子を、燕三条から世界へ。

一枚板を 99%活かす循環型デザインが大阪・関西万博でお披露目～

株式会社ドッツアンドライズは、燕三条広域の企業と連携し、これからの日本のくらしを体現する「未来の椅子」をデザイン・製作し、大阪・関西万博へ貸与します。

天板の板は、燕三条駅の屋根改良工事において落下養生として使用した杉板を再活用しています。ゼロカーボンの実現が求められる現代において、貴重な木材を「廃棄物」として処分せず、新たなプロダクトに生まれ変わらせることで、循環型社会への一歩を提示します。

さらに「一枚板から作る歩留まり 99%の椅子」をコンセプトに掲げ、職人の技とデザインの力を融合。限りある資源を最大限に活かし、新たな価値を創出する試みに挑戦しています。

※Co-Design Challenge とは？

大阪・関西万博を契機に、様々な「これからの日本のくらし（まち）」を改めて考え、多彩なプレイヤーとの共創により新たなモノを万博で実現するプロジェクトです。



※画像はすべてイメージです。

※掲載内容は予定であり実施内容を変更・中止することがあります。

【参考】

■JRE Local Hub 燕三条について

- ▶施設名：JRE Local Hub 燕三条
 - ▶内容：地域の技術や人々をエリアや世代を超えてつなぐ地方創生型ワークスペース
 - ▶場所：上越新幹線 燕三条駅 改札外2階
 - ▶開業日：2023年2月17日
- 公式ウェブサイト (<https://factory-window.jp/>)



■「JR 東日本ローカルスタートアップ投資事業有限責任組合」による株式会社ドッツアンドライズへの出資

2024年11月、地域との連携や社会課題の解決をさらに加速させていくため、運用期間を一般的なファンドに比べて長期となる20年間に設定した、JR東日本とJR東日本スタートアップ株式会社の出資による「JR東日本ローカルスタートアップ投資事業有限責任組合（ローカルスタートアップファンド）」を設立しました。出資1号案件として株式会社ドッツアンドライズと連携したことで、今後さらなる新ビジネス創出に取り組み、継続した地域課題解決を目指します。



■主な取組み実績

	JRE Local Hub 燕三条 in Tokyo Station	東京都立工科高等学校向け教育プログラム
日程	2024年9月2日～2024年9月8日	2024年8月19日～2024年8月20日
概要	2023年に続き東京駅構内イベントスペース「スクエアゼロ」で開催した、ものづくり産業の活性化に向けたビジネスマッチングイベント。出展企業30社とのビジネスマッチングや、技術力の高い職人が製造した地域製品の販売の他、職人によるデモンストレーション、燕三条エリアの情報発信、自治体と連携したふるさと納税PR等を実施。 	燕三条のものを学ぶ東京都立工科高校生向けの教育プログラム。3回目となる今年は「燕三条のもののづくりの文化と深化」をテーマに、工場視察などを通じ、ものづくりや製品開発を学ぶことで、社会課題の解決につながるサービスについて参加者で考えた。また今回初めて、燕三条の技術で商品化を目指すアイデアコンテスト「ものづくりAWARD」への応募につながるアイデアを検討・挑戦する機会を設けた。 